

令和6年度 介護支援専門員実務研修 プログラム

科 目		時間	目 的	
前期	①介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	講義 3時間	介護保険制度創設の背景や基本理念等を理解するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の現状を理解する。 また、介護保険制度における利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員の役割を認識する。	
	②自立支援のためのケアマネジメントの基本	講義・演習 6時間	利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を理解する。 また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送ることができるように支援することの重要性を理解するとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する支援の重要性を理解する。	
	③相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	講義・演習 4時間	ケアマネジメントにおける相談援助の専門性を理解し、直接援助職から相談援助職への視座の転換を行う。また、利用者のニーズを把握する上で、利用者を多面的に捉える視点の必要性を理解し、利用者の自立支援に向けた相談援助技術を修得する。	
	④人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	講義 3時間	人権と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識する。 また、介護支援専門員としての職業倫理を理解するとともに、日常業務で直面する倫理的課題等を認識する。	
	⑤利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	講義・演習 2時間	利用者及びその家族に対する適切な説明と合意形成の手法を修得する。また、サービス担当者会議、地域ケア会議等様々な場面においても説明と合意が得られる技術を修得する。	
	⑥ケアマネジメントのプロセス	講義 2時間	ケアマネジメントプロセスの全体像を理解する。	
	ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術	⑦-1 受付及び相談並びに契約	講義・演習 1時間	受付及び初期面接相談(インテーク)、契約の各場面で求められる実践的な技術を修得する。
		⑦-2 アセスメント及びニーズ把握の方法	講義・演習 6時間	利用者及びその家族並びに多職種からの情報収集とその分析を通じて、介護支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を修得する。また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を修得する。
		⑦-3 居宅サービス計画等の作成	講義・演習 4時間	ニーズを踏まえた目標の設定と目標を実現するための居宅サービス計画等の作成技術を修得する。 また、居宅サービス計画等と訪問介護計画等の個別のサービス計画との連動やサービス事業者間の連携の重要性を理解する。 介護予防サービス・支援計画の関連様式の作成方法、作成のための課題分析の考え方を理解する。
		⑦-4 サービス担当者会議の意義及び進め方	講義・演習 3時間	多職種とのアセスメント結果の共有や、居宅サービス計画等の原案に対する専門的見地からの意見収集の意義を理解し、会議の開催に係る具体的な方法を修得する。
		⑦-5 モニタリング及び評価	講義・演習 3時間	ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や、多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。
	⑧介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	講義・演習 2時間	多職種に対する理解・尊重に基づいてチームを組成し、円滑に機能させるための基本的な技術を修得する。	
⑨地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化及び地域の社会資源	講義 2時間	地域包括ケアの理念を踏まえ、地域包括ケアを推進していくに当たり介護支援専門員に求められる役割を理解する。 また、利用者の生活の継続を支える上で知っておくべき各種制度や地域の社会資源の重要性を理解する。		
⑩生活の継続を支えるための医療との連携及び多職種協働の意義	講義 2時間	医療との連携や多職種協働の意義を踏まえ、具体的な連携の場面で必要となる基本的な知識や連携の手法を修得する。		
⑪ケアマネジメントに係る法令等の理解	講義 2時間	法令を遵守し、介護支援専門員の業務を適切に遂行できるよう、介護保険制度に係る法令等を正しく理解する。		
⑫実習オリエンテーション	講義 1時間	研修における実習の位置付けと目的、実施方法を理解し、効果的な実習に結びつける。		

令和6年度 介護支援専門員実務研修 プログラム

科 目		時 間		目 的
⑬ケアマネジメントの基礎技術に関する実習		—	—	実習現場でのケアマネジメントプロセスの経験を通じて、実践に当たっての留意点や今後の学習課題等を認識する。
⑭実習振り返り		講義・演習	2時間	実習を通して得られた気付きや課題を客観的に振り返り、発表することを通じて今後の学習課題を認識する。
適切なケアマネジメント手法の活用について		講義	1時間	
後 期 ケ ア マ ネ ジ メ ン ト の 展 開	⑮-1 生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント	講義・演習	3時間	生活の継続を支えるためのケアマネジメントは高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいて行われる必要があることを理解する。また、適切なケアマネジメント手法の基本的な考え方を理解する。
	⑮-2 脳血管疾患のある方のケアマネジメント	講義・演習	4.5時間	脳血管疾患に関する身体機能の制約や高次脳機能障害が生じやすい疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(脳血管疾患のある方のケア)」の内容を理解する。
	⑮-3 認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント	講義・演習	4.5時間	認知症の特徴や療養上の留意点、多職種との情報共有において必要な視点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(認知症のある方のケア)」の内容を理解する。
	⑮-4 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント	講義・演習	4.5時間	大腿骨頸部の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(大腿骨頸部骨折のある方のケア)」の内容を理解する。
	⑮-5 心疾患のある方のケアマネジメント	講義・演習	4.5時間	心不全につながる心疾患の特徴を理解するとともに、望む生活を継続するためのケアマネジメントにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(心疾患のある方のケア)」の内容を理解する。
	⑮-6 誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント	講義・演習	3時間	誤嚥性肺炎の特徴を理解するとともに、誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおける留意点等を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。また、「適切なケアマネジメント手法」の「疾患別ケア(誤嚥性肺炎の予防のためのケア)」の内容を理解する。
	⑮-7 高齢者に多い疾患等(糖尿病、高血圧、脂質異常症、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病、筋骨格系疾患、廃用症候群)の留意点の理解	講義	2時間	高齢者に多い疾患等の特性や療養上の留意点、起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。
	⑮-8 看取りに関する事例	講義・演習	4時間	看取りにおける留意点や起こりやすい課題を踏まえた支援に当たってのポイントを理解する。
	⑮-9 地域共生社会の実現に向け他法他制度の活用が必要な事例のケアマネジメント	講義・演習	3時間	他法他制度(難病施策、高齢者虐待防止関連施策、障害者施策、生活困窮者施策、仕事と介護の両立支援施策、ヤングケアラー関連施策、重層的支援体制整備事業関連施策等)の活用が必要な事例の特徴、対応する際の留意点を理解する。
⑯アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習		講義・演習	4時間	研修全体での学びを踏まえ、アセスメントから居宅サービス計画等の作成からモニタリングまでを一貫して行い、ケアマネジメントプロセスについて更なる理解を深める。
⑰研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り		講義・演習	1時間	研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。
			87時間	